

(学生団体)福島大学災害ボランティアセンターについて

センターマネジメントチーム

伊藤 航

佐藤 宗

活動目的・意義

今回の東日本大震災において、福島県は地震・津波に加えて福島第一原子力発電所の事故による甚大な被害を受けた。特に原発の影響は浜通り地方にとどまらず、県内各地に広がっている。そのような中で、福島県民は風評被害に苦しんだり、自宅に帰れず避難生活を強いられるなど県民の元気や笑顔が失われ、福島県全体が活気を失っている状況にある。さらに、福島大学の学生・教職員の中にも自宅や大切な人を亡くしたり、放射能という目に見えない恐怖に不安を抱えている者もいる。

私たちはこんな時だからこそ、福島県民にもう一度元気や笑顔を取り戻してもらうための支援や、今回の震災で被災した福島大学の仲間のために何かをしたいという意欲に満ち溢れている。支援を必要としている福島県民・仲間を支えることにより、大学、そして福島県を元気にしたいという熱意を持つ学生たちが活動・奮闘する場として、私たちは(学生団体)福島大学災害ボランティアセンターを設立した。

設立までの経緯

3月11日の東日本大震災以降、福島大学生は全国各地でボランティア活動を行っていた。福島市においても福島大学避難所やあづま総合運動公園避難所をはじめとする各地の避難所の運営に携わったり、イベントを運営したりと、福島大学生は積極的に活動していた。

5月に入り、大学が始まると学生が福島に戻ってきたのだが、ボランティア活動を続けたいという思いを持つ学生がたくさんいた。そこで、「福島大学避難所」のスタッフと主にあづま総合運動公園で活動していた「福 Love」のメンバー、そしてすでに福島大学にあった「key's」というボランティア団体のメンバーが中心となり新たに「(学生団体)福島大学災害ボランティアセンター」を設立した。

7月6日現在、170名以上が登録しており、うち33名がスタッフメンバーとして、福島県内を中心に活動を行っている。

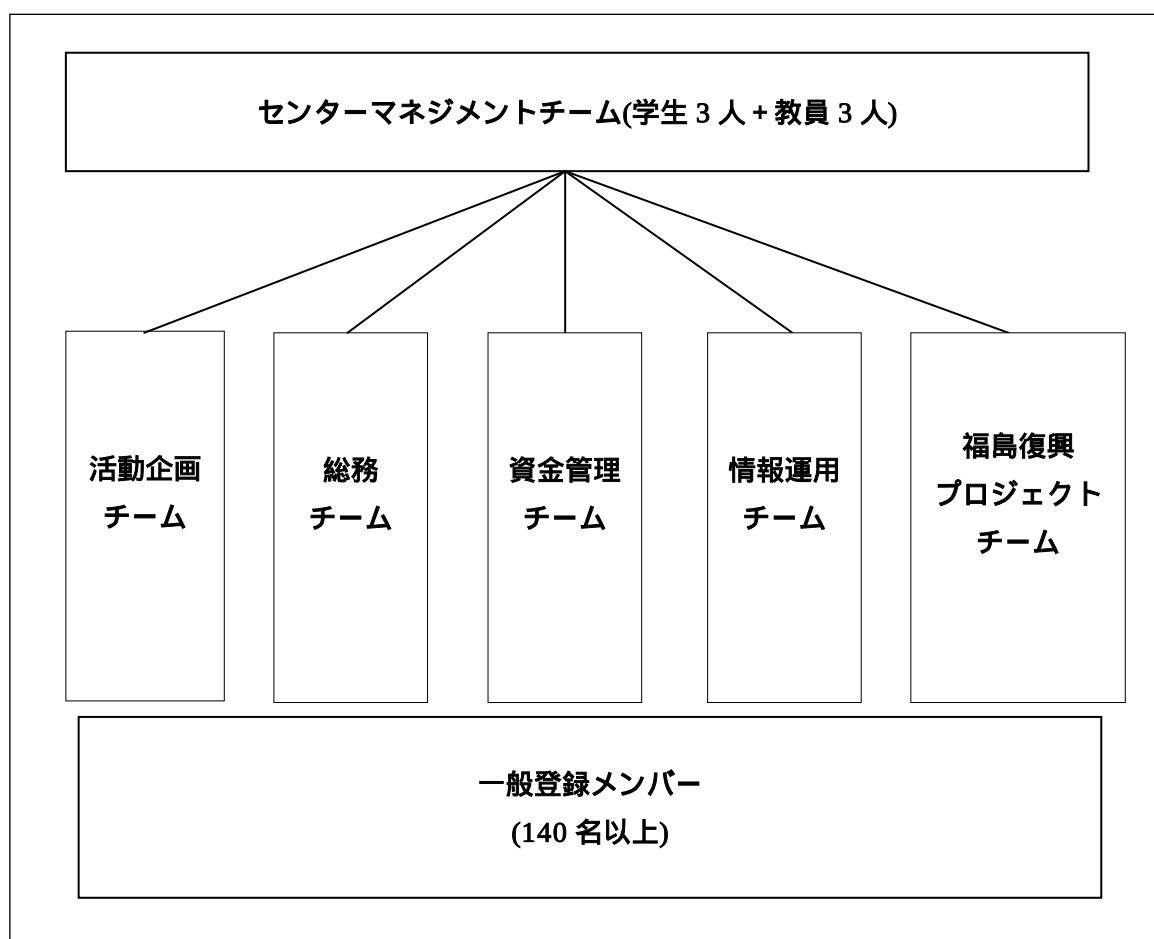
これまでの活動

- ・ あづま総合運動公園避難所の支援(誕生日会などのイベント運営、足湯活動)
- ・ ビックパレットふくしま避難所の支援(足湯活動、避難所記者)
- ・ 義援金を集めるためのフリーマーケット(福島大学 S 棟前)
- ・ 新地町ボラセンへの人員の派遣・活動
- ・ 相馬市みなと保育園への支援

これからの予定

- ・ 上記活動の継続
- ・ 南相馬市、いわき市への人員の派遣・活動
- ・ 県内各地の避難所に特派員の派遣・避難所新聞の作成
- ・ 他大学のボランティアセンター、ボランティア団体との連携
- ・ 新地町釣師海岸のビーチクリーニング
- ・ 各種イベントの企画・運営

ボランティアセンター組織図



平成 23 年 7 月 6 日
学生団体 福島大学災害ボランティアセンター
佐藤 宗

「ふくしま子どもリフレッシュサマーキャンプ」

この度、福島・東京・三重・愛知で活動する 4 団体で、県内の小学校 4～6 年生を対象にしたサマーキャンプを行います。8 月 9 日からの 4 泊 5 日間で、7 月 3 日から募集を開始します。

記

1、背景・趣旨

福島県内では 3 カ月以上が経った現在でも、一部地域で福島第一原発の影響により放射能値が高い状況にあり、特に 14 歳以下の子どもは配慮が必要である。

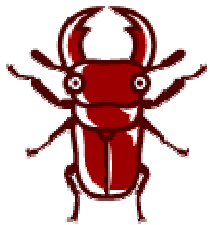
そこで、GW 中に福島大学生と福島県でボランティア活動を行った三重学生災害支援団体 team M と愛チカラ、それに加えて日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET と協働し、福島の小学生を三重県に招待することとなった。

普段とは違って思う存分に外で遊んでもらうとともに、将来「東日本大震災」で経験したことを思い出した時に、少しでも楽しかった記憶を思い出してもらいたいという意図である。

2、概要

【出発日】	平成 23 年 8 月 9 日（火）～8 月 13 日（土）【4 泊 5 日】
【募集】	県内の小学校 4 年生から 6 年生を 40 名募集
【旅行代金】	無料
【募集期間】	7 月 3 日（日）～7 月 18 日（月）
【訪問予定地域・施設】	名古屋港水族館、伊勢志摩ユースホステル、海水浴場、志摩スペイン村など
【共同主催】	（学生団体）福島大学災害ボランティアセンター、愛チカラ 三重学生災害支援団体 team M 日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET
【協力】	JTB 東北 福島支店

問い合わせ先
（学生団体）福島大学災害ボランティアセンター
三重サマーキャンプリーダー 松藤真博
E-mail : fukudai_volunteer@hotmail.co.jp



福島・三重県内学生共同支援事業

ふくしま子ども

リフレッシュサマーキャンプ

今年の夏は、三重の海で思いっきり遊びましょう！
子どもたちの夏休みの楽しい思い出づくりを、私たち大学生が全力でサポートします！！

【出発日】2011年8月9日（火）～8月13日（土）

往路フェリー欠航の場合中止となります

【食事条件】4泊5日（朝食4回、昼食4回、夕食4回）

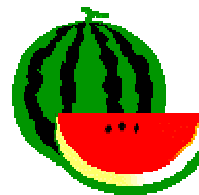
【募集人数】40名（最少催行人数20名）

【対象】福島県内の小学校4年生から6年生

【応募期間】7月3日（日）～7月18日（月）消印有効

【添乗員】全行程同行します。また、団長は福島大学行政政策学類教授 鈴木典夫が務めます。

【旅行代金】無料（別途 任意で保険料500円）



今回は（学生団体）福島大学災害ボランティアセンター、三重学生災害支援団体 team M、
日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET、愛チカラの援助で行われています。

【応募方法】下記の内容を明記の上、JTB 東北 福島支店に郵送、またはFAXにてお送りください。

JTB 東北福島支店（〒960-8035 福島市本町5-26）FAX：024（522）2980

【記載内容】参加者のお名前、学年、年齢、性別、住所、書類送付先住所（現在の生活場所）、電話番号、
バス乗車希望地（福島または郡山）、ご兄弟参加の場合のお名前、学年、年齢、性別

【行程】テレビ取材が入る可能性があります。

■ 8月9日（火）

郡山駅または福島駅（8:30～10:00）・・・仙台港（11:30～12:50）・・・名古屋港（翌10:00）

■ 8月10日（水）

名古屋港（10:00～11:00）・・・水族館（鳥羽または名古屋）・・・BBQ・・・伊勢志摩ユースホステル（泊）

■ 8月11日（木）

ホテル（8:30）・・・海水浴（阿児の松原海水浴場）・・・伊勢型紙でのランプシェードづくり

・・・志摩スペイン村・・・伊勢志摩ユースホステル（泊）

■ 8月12日（金）

ホテル（8:30）・・・スイカ割り、ドッチボールなど（次郎六郎海水浴場）・・・

・・・名古屋港（17:00～19:00）・・・仙台港（翌16:40）

■ 8月13日（土）

仙台港（翌16:40）・・・福島駅または郡山駅（19:00～20:30）

雨天などの場合、行程を変更することもあります

旅行に含まれるもの：宿泊代、各種交通費（集合・解散場所までは含まれませんので各自でお願いいたします）、食事代、各種観光入場料、
体験料、旅行業務取扱手数料代

内容に関するお問い合わせは

（学生団体）福島大学災害ボランティアセンターまで

Mail:fukudai_volunteer@hotmail.co.jp

旅行企画・実施

お申し込みは

JTB 東北 福島支店

福島市本町5-26 〒960-8035

TEL：024（523）3314（月～金、9:30～17:30）

FAX：024（522）2980

総合旅行業務取扱管理者：高見 直政 担当者：黒田 萌花

「ふくしま復興支援学生ネットワーク」始動

この度、「学生団体 福島大学災害ボランティアセンター」で活動する福島大学の学生が発起人となり、県内の大学・専門学校の学生が連携を取り合いながらふくしまの震災復興支援を行うことを目的とした「ふくしま復興支援学生ネットワーク」構想を策定しました。

記

1. 背景・趣旨

東日本大震災を受け、福島県内では学生が各地で復興へ向けたボランティア団体の立ち上げや活動に取り組み始めている。これまで他大学の学生同士が関わり合いながらボランティア活動に取り組んだり、「復興支援のために学生ができること」を共有する会を開催したりしてきた。そうしたなかで、各地の学生がネットワークを組んで、それぞれの大学や地域だけの活動に留まらず、さらに福島県全域で活動を広げていく基盤が整ってきた。

また、この震災による被害は甚大で、学生の各地域の支援活動だけでは復興への取り組みとして限界がある。現在、被災者の生活は避難所から仮設住宅へと移り変わる時期であり、こうしたなかでの被災者のニーズ把握や心のケアの支援は多様化し、今後さらに必要が増すと思われる。

そこで、各大学または各地域の学生が共に情報交換をし合い、連携をとりながら幅広く活動を行うことで、被災者・被災地への即時的な対応や効率的または柔軟な支援ができるのではないかと考え、学生のネットワーク構想を策定するに至った。

2. ネットワーク構想の概要

福島県内にある大学や専門学校で、既に災害ボランティアの活動を行っている団体やキーパーソンが中心となり、県北（相双地区含む）・県中（県南含む）・会津・いわきの4地域で災害ボランティアネットワークをそれぞれ構築する。そして、その4地域の情報交換をベースとして被災者・被災地への全県的な支援活動を行っていく。具体的には、各大学や各地域の活動を尊重しながら、それぞれの活動を高めていくと同時に、各地域のボランティアやプロジェクトへの協働活動を行う。

3. ネットワーク構想で考えている連携大学・専門学校

福島大学、桜の聖母短期大学、福島学院大学、郡山女子大学、日本大学工学部、国際メディカルテクノロジー専門学校、ボラリス保健看護学院の5大学2専門学校の各学生有志のキーパーソンと今後、連絡を取り合っていくことで合意。

今後は、会津地域（会津大学、会津大学短期大学部）やいわき地域（いわき明星大学、東日本国際大学）とも連携を図っていくことを予定している。

■ 第二回「ふくしま復興支援学生ネットワーク」会議

平成 23 年 7 月 12 日(火) 18:30～20:00

コミュニティボックス ぴーなっつ

■ 本件に関するお問い合わせ先

ふくしま復興支援学生ネットワーク構想 発起人 高橋あゆみ（福島大学4年）

E-mail: fukudai_volunteer@hotmail.co.jp

ふくしま復興支援学生ネットワーク

復興支援学生ネットワーク会議(月1)
他大学協働ボランティア活動
他大学プロジェクト活動

支援

支援

支援

支援

MS

MS

MS

MS

福島大学

桜の聖母短期大学

福島学院大学

……

県北災害
ボランティア
ネットワーク

郡山女子大学

テクノロジー専門学校

国際メディカル

保健看護学院

ポラリス

日本大学工学部

……

県中災害
ボランティア
ネットワーク

いわき明星大学

東日本国際大学

……

いわき災害
ボランティア
ネットワーク

会津短期大学

会津大学

……

会津災害
ボランティア
ネットワーク

MS…各大学マネージャースタッフ
(キーパーソン)

ML(メーリングリスト)情報共有

各大学・各地域の活動情報共有
各大学活動ノウハウ共有・提供